# 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

1.事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2.体験した事例の名称	救助工作車のフロントウインチを使用しての救助活動中、救助活動エリアに他車が進入
3.体験した事例の中心的要素	片側2車線(国道)の交差点付近において、軽トラックの単独事故で、 事故車両と反対車線に救助工作車を配置、全ての車線を塞いだ形で救助 工作車のフロントウインチにて事故車両を牽引中、他車が警察の交通規 制を振り切って交差点を進入し、車線を逆走して救助活動エリヤに進入 し、フロントウインチのワイヤーまで約10cmのところで急停車した。
4.体験した事例の原因・理由	警察官に交通規制を依頼、その交通規制を完全に信用し、また、救助活動に傾注するあまり、自ら安全に活動できるエリアの確保(矢印版の設置及び監視員の配置)を怠っていた。

# 【体験した事例の直接的原因について】

1.体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。行動の実行に問題があった。

# 【体験した事例について】

1.発生日時	平成 19年 1月 4日 午前 4時頃
2.発生した当時の天候	晴
3.発生した活動現場	屋外:片側2車線(国道)の交差点付近
4.体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5.事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう。
6 . どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	交通事故、
7.事例体験時の活動	救助、現場活動中期、 [ ]
8 .( 7の活動中 ) どのような作業中に発生したか	人命検索・救出、
9 . 同様の体験は、これまでにどの 程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

## 10.ヒヤリハット体験当事者の属性(回答者は当事者A)

当事者 A	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ] 年、 階級[ ]、
	同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
当事者 B	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、
	同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
当事者C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、
	同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他	4隊16人
(当事者が4人以上の場合)	

## 11.事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	事故車両	単独事故により道路脇の信号機用コンクリート柱に	
		激突(運転席内に1人はさまれる)	
経過 2	消防指揮者	救助活動のため全ての車線を塞ぐ必要があるため警	
		察官に交差点内の交通規制を依頼する	
経過3	救助隊	片側2車線の国道を全て塞ぐ形で救助工作車を部署	
		させる	
経過4	救助隊	事故車両を救助工作車のフロントウインチにて牽引	
		し救出活動を行う	
経過 5	進入車両	事故車両の反対車線から警察の交通規制を	
		振り切って交差点に進入し、反対車線を逆行	
経過 6	進入車両	救助工作車のフロントウインチのワイヤーまで約1	
		0㎝のところで急停車する	
経過7			
経過8			
経過 9			
経過 10			

# 【その事例発生時の状況について】

事故の場合:事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

たまたま、負傷事故にならなかった。

## 心理・体調について

## a . あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという"あせり"を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており"あせり"を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより"あせり"を感じていた。	いいえ

## b . 注意力が欠如していた

- 1—12	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

#### c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

## d.心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ	
・悩み事があった。	いいえ	

#### 装備・資機材について

#### e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

#### 活動環境について

## f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

## g. 行動しにくい環境だった。

_		
	・狭隘な場所であった。	いいえ
	・暑かった(寒かった)。	いいえ
	・野次馬が多かった。	いいえ
	・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

#### h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

#### 指揮・管理について

## i.適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。( 周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

## k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

#### その他

#### 1.その他の理由があった。

はい:警察官の交通規制を振り切ってまで他車が進入してこないだろう思いがあった。

